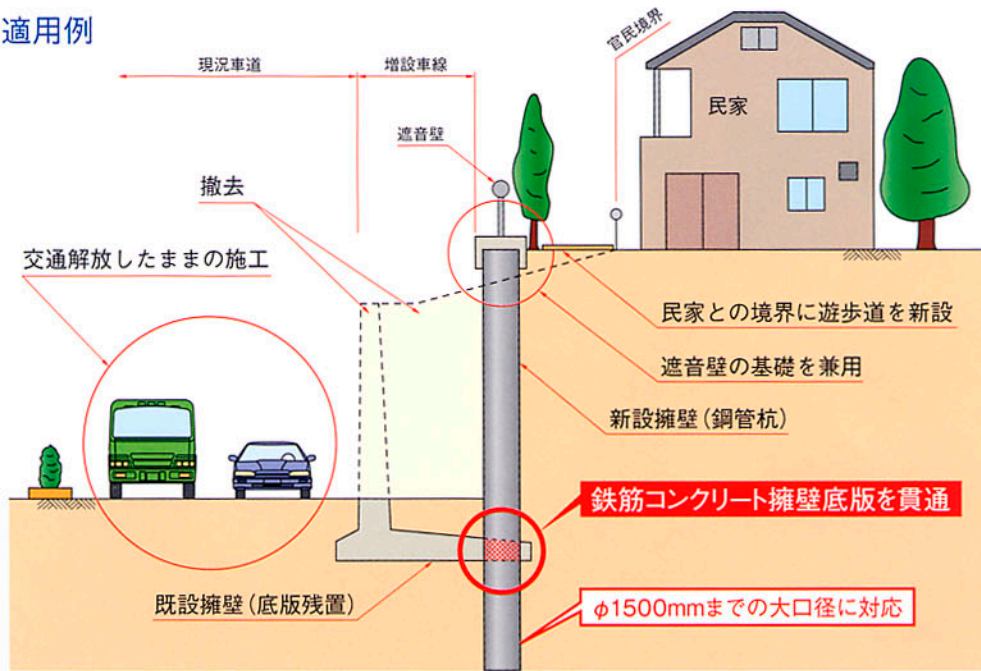


地中構造物を残置したままで、機能の再生・強化を図る 発展的構造物コンセプトを実現

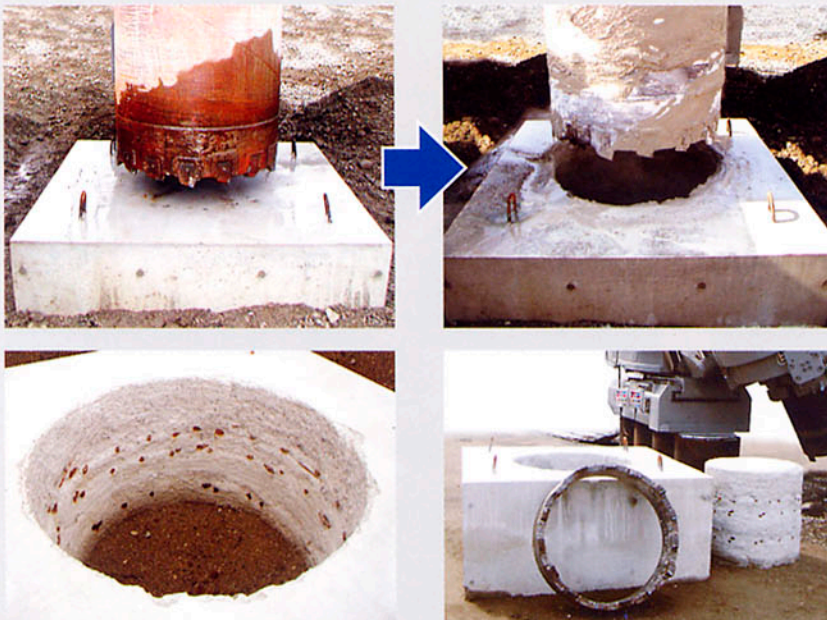
ジャイロプレス工法により、基礎と躯体を一体化した構造部材（先端ビット付き鋼管杭）を、回転圧入して地中に貫入させることで、既存の地下構造物を残置したまま、構造物の再生や機能強化が可能になります。工種は少なく、周辺環境や地域経済に影響を与えることなく、構造体も理想的な品質で造り上げることができます。

道路拡幅への適用例



鉄筋コンクリートを切削（先行掘削：特許 第4105076号）

鉄筋コンクリート（厚さ80cm、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、D16@250×3段）を、回転圧入により鉄筋を切断して貫通させた状況です。



ビットの規格を変えることにより、多様な地盤への適用が可能です。

